

盛岡市議会  
市政クラブ

# 鈴木一夫 議会だより

## 第12号

鈴木一夫事務所  
盛岡市仙北2-23-24  
電話019-635-8839  
FAX019-635-9176

自治体の仕事は街づくりと福祉の推進です。これに加え住民生活を守る対策が加わり、如何に温かみのある行政を効率よく実施するのかが問われています。

2020年以来新型コロナウイルス感染症における医療体制の充実や経済対策は急務です。

国の施策によるところが大きいものですが、盛岡市としての体制強化も求められます。

地域課題の解決にくわえ、構造的な課題である少子化高齢化の課題について積極的な提言を続けてまいります。



未来への責任

CONTENTS

- トップページ
- プロフィール
- 更新履歴
- 議会便り
  - + 2021年3月号
  - + 2021年2月号
  - + 2021年1月号
  - + 2020年12月号
- 過去の記事
- 最近の記事
  - + 予備選への回答
  - + 12月定例会質問
  - + 令和3年度予算案
  - + 9月定例会質問
  - + 3月議会質問
- 過去の記事
  - + 交通政策
  - + 盛岡の明日
  - + 最近の市民活動
- 後援会会則
- 外部サイト

**盛岡市議会議員  
鈴木一夫 WEB SITE**

身近な問題を真剣に！  
納税者納得の市政に！



- 議会便り2021/3 [3/1]
- 議会便り2021/2 [2/1]
- 予備選への回答 [1/13]
- 議会便り2021/1 [1/1]
- 12月定例会一般質問 [12/10]
- 議会便り2020/12 [12/1]
- 市政クラブ 令和3年度予算案 [11/27]
- 議会便り2020/11 [11/1]
- 議会便り2020/10 [10/1]
- 過去の記事

### 最新情報 発信中!!

議会だよりなど  
随時更新中。  
是非ご覧下さい

[www.suzukikazuo.com/](http://www.suzukikazuo.com/)

鈴木一夫

検索



盛岡市議会議員  
すずきかずお  
**鈴木一夫**

1969 (昭和44) 年11月生まれ。

出生時本籍：盛岡市東見前。盛岡市立仙北小学校、仙北中学校、花巻北高校、法政大文学部卒。学卒後、会社員、衆議院議員前原誠司秘書。2007 (平成19年) より盛岡市議会議員 (4期目)、議会運営委員会副委員長、岩手県後期高齢者議会議員議会運営委員長。

地域活動として仙北2丁目自治会会長、盛岡舟っこ流し協賛会事務局長、仙北地区体育協会会長。法人理事長。

毎日の活動状況はホームページに掲載しております。



# これまでの取り組みについて(2021年)

## 動き出した内丸官庁街 一団地再生事業

盛岡市の中心街には、築50年を超える建築物が多く一斉に建て替えの時期を迎えます。

盛岡市役所建て替えの課題を継続して取り上げてきましたが、加えて各官庁にも呼びかけ一斉に建て替え需要を合わせて合同庁舎化、複合化する



動き出した内丸官庁街一団地再生事業

ることで再生を図られないか市議会で一貫して主張してまいりました。

当初は、国や県、民間など施設管理者ごとの建て替えという認識であった盛岡市。岩手医大移転に伴い中心部の空洞化や盛岡市役所の建て替え(2035年)の機運の情勢をまちづくりを生かすように提言。内丸地区の都市デザインを盛岡市が提示をして国や県、民間の施設管理者との調整と整合性を図るべきと主張してまいりました。

内丸官庁街一団地を2030年代にむけ再生していく取り組みと本格的に始まった盛岡城の木造天守閣の再生事業、そして私が提案をしている移転後の盛岡市役所跡地ならびに中津川沿いへ飲食店街の誘

導、この3点はこれからの街づくりの核になるということを提言して行きたいと思えます。

### 主な建物の竣工年(築年数)

盛岡市役所	1962年(築59年)
岩手県庁	1965年(築56年)
県合同庁舎	1969年(築52年)
県議会議員会館	1965年(築56年)
国合同庁舎	1961年(築60年)
県公会堂	1927年(築94年)
岩手医大	1926年(築95年)
岩手医大病院	1958年(築63年)※移転
岩手医大歯学部	1965年(築56年)
A新聞社	1962年(築59年)
B銀行	1963年(築58年)
C銀行	1961年(築60年)
岩手県水産会館	1966年(築55年)
旧ナナック(もなか)	1960年(築60年)
旧盛岡バスセンター	1960年(築60年)現在更地
旧盛岡中央消防署	1975年(築46年)現在更地
盛岡市役所内丸分庁舎	1977年(築44年)

## 動き出した 仙北町駅橋上化



JR仙北町駅外観

大正4年開業の仙北町駅。この駅に1990年仙北西区画整理事業において仙北町駅東西自由通路が整備されました。

特に駅西口利用者は、2度上り下りをしなければならぬ状況が課題でした。

仙北地区のまちづくり懇談会で駅改善の要望を出してきました。

鈴木が当選した翌2008年以降、勉強会を盛岡市とJR東日本盛岡支社と毎年継続して開催。2009年に「JR仙北町駅橋上化を実現する会」が発足し事務局長として議論を進めてまいりました。この間、地元の皆様と矢巾駅や好摩駅の視察を含め先進事例の検証を行ってまいりました。

2015年には仙北町駅東西自由通路に1億6000万円の予算を確保しエレベーター2基が設置されました。

2021年2月26日に地元町内会長と盛岡市担当課、JR東日本盛岡支社の勉強会の場でJR東日本盛岡支社より以下の提案がありました。

- ・JR東日本盛岡支社、国、盛岡市で橋上駅の協議会を2021年3月に立ち上げる。
- ・バリアフリー関連の事業費を活用して駅のバリアフリー化

を実現したい。

- ・JR仙北町駅を橋上駅とし自由通路の2階部分に改札口を設置する。

- ・自由通路と既存跨線橋を活用して利用者の動線を確保する。

- ・駅ホーム内にエレベーターを確保する

- ・2021年より基本設計と詳細設計をする。新駅舎完成まで4～5年かかる。

- ・既存駅舎は解体したい。またトイレは2階改札内に移動したい。

という内容です。

活動が大きく前進し、目標の達成が見えるところに来たところですが、今後設計される内容や既存駅舎のありようについて、地元の皆様としっかりとした調整を図ってまいりたいと思います。

## 市道津志田白沢線矢巾町境までの工事着手へ！



毎年実施した市道「津志田白沢線」の勉強会  
西見前の上通公民館にて

都南文化会館から盛岡南高校西側付近を通り矢巾町境まで至る都市計画道路「津志田白沢線」。矢巾町区間は全線開通しており、盛岡市域の区間は未整備のままという状況です。

この道路の全線開通を求める地元の皆様の声をうけて2012年から勉強会を実施し

てきました。

2012年・2013年と勉強会を開催し、2014年には沿道全地権者の署名入り要望書「都市計画整備プログラムへの位置づけをはかること」を市長あてに提出。勉強会を始めた当初は将来道路網計画には位置づけはいいませんでした。熱心に働きかけたこと、矢巾町への医大移転の本格化と街づくりの進展から2017年改訂の「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に格上げすることができました。

その後も、早期着手について毎年勉強会を開催し、2019年度の勉強会において16億5400万円の事業費の概算見通しを示され、2020年度より工事着手となりました。

今後は、都南文化会館より盛岡南高校西側を経て矢巾町境までの全線の早期完成にむけて更に活動をしてまいります。

## 地域の均衡ある発展

人口減少社会であっても縮小均衡であれば地域は維持できます。問題は高齢者世帯の増加と子育て世代の減少からくる地域力の停滞です。

盛岡市でみるとこの10年で本宮地域、向中野地域や長橋町のように人口60%も増加をし、学校の増築工事を行っている地域がある一方で、中山間地域や昭和40年代に開発され



一般質問の様子

た住宅団地などでは30%以上減少し衰退している2極化が課題です。

市議会では、各地域・各小学校学区単位での進行管理計画、つまり「高齢化率の割合」に応じ、空き家対策のテコ入れや子育て世代の移住定住を促進する地域別の維持管理が必要であることを議会で指摘して参りました。

また、その指標には小学校の児童数を指標とすべきと提言。

千葉県佐倉市にある「ユウカリが丘」団地は、これを実践している団地として有名で市議会でも視察を行いました。

また、地域から徴収された税金は一定程度の割合(%)を地域で使用できる税収の地域枠還元制度をつくり、空き家対策や狭隘道路対策、地域を維持させる財源に充てるべきとの主張をつづけております。

盛岡市でも高齢者・若者..

子どもたちの割合が一定の比率に収まるような進行管理計画の導入が図られるよう提言を続けます。



.....  
2021(令和3)年3月  
議会では予算審査特別委員会副委員長に就任し、予算審査全般の議事進行を行いました。



## 身近な問題を真剣に！ (相談事はお気軽に)

(これまでの主な相談事項)

道路・下水道・河川改修、除雪、地盤改善、都市計画について、土地区画整理事業市街化調整区域での土地利用、生活福祉相談、観光振興、復興支援策、教育問題、市議会運営について、各種政策提言、地域開発計画など。

相談事はお気軽に 電話 019-635-8839

もしくは、メール aap09710@hkg.odn.ne.jp まで。